

第1号

発行 群馬県訪問看護ステーション
連絡協議会
群馬県医師会内
住所 〒371-0022
前橋市千代田町一丁目7-4
TEL 027-231-5311
FAX 027-231-7667
責任者 赤沢達之

たいよう

群馬県訪問看護ステーション連絡協議会の会員の皆様には、常日頃地域において主治医との密接な連携のもとに看護や介護を必要とする人達をしつかりと支えて頂き心から感謝申し上げます。

また、今回の介護保険制度の見直しにあたり厚生労働省の審議会では「予防」「痴呆」「地域」という三つのキーワードのもとに新しい方向を示す報告書をまとめました。

高齢者の健康を保ち、人生を美しく全うするため、従来の施設中心のものから在宅という生活の場



会長 赤沢達之

群馬県訪問看護ステーション
連絡協議会

群馬県訪問看護ステーション
連絡協議会
広報誌発行に寄せて

の中での医療・介護へと移って参ります。

会員の皆様の役割はますます増えてきます。それぞれ自覚と行動をもって県民の医療と看護・介護に専門性を生かして御尽力下さい。

群馬県訪問看護ステーション
連絡協議会

副会長 八木茂

介護保険制度がスタートしてから5年が過ぎ、施設から在宅へと医療の転換、また、新たに介護予防のための新しいシステムの構築が指摘されている中で在宅ケアに果たす訪問看護の役割と期待は益々大きなものになっていきます。

群馬県においても多くのステーションの皆様が在宅介護の中核として今後なお一層期待される事を期待しております。

群馬県訪問看護ステーション
連絡協議会

副会長 中里貴江

漸くこの日を迎える事が出来て、とても嬉しい気持ちでいっぱいです。

広報担当はホームページの立ち上げを目標にしましたが、日常の業務も多忙でなかなか前へ進まなかったのが現実だと思えます。担当者も当初から現在の担当に変わり、群馬県訪問看護ステーション連絡協議会の前身だった「太陽の会」の足跡もまともて頂きました。この間、担当して下さった方々の努力と苦勞がヒシヒシと伝わって参りました。

ホームページまでの道のりはまだ長いと思いますが、この広報誌が群馬県訪問看護ステーション連絡協議会発展の足がかりとなり、各訪問看護ステーションが成長する事を願っています。そして、群馬県民の生活の糧になるような訪問看護ステーション連絡協議会を目指し、私も副会長として努力を重ねて参りたいと思います。

生業（なりわい）を考える

群馬県訪問看護ステーション

連絡協議会

世話人 鈴木憲一

我が国においては、高齢者が平成37年には全人口3.5人に一人になると予想されるなど、急速に高齢化が進行している。こうした中、

寝たきりや認知症（痴呆）などの高齢者が増加する一方で、所謂独居老人と言われる人達も増えている。高齢者介護について介護保険制度が定着しつつある現在は、高齢者介護について後世の歴史家がすばらしい制度であったと判断するか、高齢者介護に汚点を残した制度であったと判断されるかの生き証人として働く我々がある。

制度がどうあるにせよ、看護・介護の対象は目の前にある。その仕事を機械にまかせるわけにはいかない。目の前の対象を社会保障の対象として見るのではなく、肉体的、社会的弱者という目で見られるでもなく、その人なりの時代と歴史を背負って生きてきた、我々の

人生の先輩の人間として見ることを忘れてはならないと思う。「みてあげる」のではなく「みさせていただけける」という心構えが、後世の歴史家に批判を与える余地をつくらせない方法であると考えます。

最近、節分ごとに歳を重ねる自分を思うと、やがていつかは、と思うようなものもある。どのような制度であっても、口をあいていれば御馳走が入ってくる制度などない。地道な実績がよりよい制度を作っていく。まさにその作業を我々が担っているという自覚なくして、いい仕事はできないのではないであろうか。これは医療・介護に限ったことでない。個人の生きざまにも関係すると思う。だから、月並みではあるが、元気な間は、頑張つてやりましょう」という言葉が似合う職業が我々の仕事であると思う今日昨日である。

訪問看護ステーション連絡協議会

活動報告

東支部

（伊勢崎・桐生地区）

役員 中里・尾花

わずか4つのステーションの管理者の集まりから始まった太陽の会ですが、この12年間で100に及ぶステーションからなる連絡協議会となり、活動もさまざまなものとなつていきます。

東ブロックでは、16のステーションが集まって活動を行なっております。

活動はあまり活発とはいえませんが、出席率は70〜80%くらいです。最初は病院併設のステーションの会場を持ち回りで行なつておりましたが、ここ数年はきらくな家を会場とさせて頂いたとき、日頃の業務の中で、管理者として困っていることや、最新情報、介護保険の中での問題点、ステーション運営などについて話し合いを持つ

ております。また、ミニ研修会の形で、呼吸リハビリ、呼吸器管理、地域リハビリなどの勉強会を行なつたりしています。

（記 櫛谷）

西支部

（高崎・富岡・安中地区）

役員 岡田・神戸・須藤・柳原

西支部では現在、二十四箇所の事業所が参加し隔月、第三木曜日に黒沢病院さんの研修棟をお借りして、支部会を開いております。

昨年の活動状況は、日頃訪問看護サービスを提供している上での悩みや、疑問に感じていること、収益や運営について等、何でも気軽に相談できる場所としての機能をもちながら、今後の活動の幅を広げる為に、研修会として「痛みのコントロールについて」、「コミュニケーション手段」と題して

2回程計画実施しました。忙しい業務の間をやりくりして、皆様参加され、有意義な時間を持つことが出来たと思います。

(記 岡田)

南支部

(太田・館林地区)

役員 岡ノ谷・世鳥山

南支部は12のステーションが集まり活動しています。偶数月に支部のブロック会議を行い・本部会の報告・地域勉強会報告・南支部勉強会について・情報交換等を中心に話し合っています。地区で行われている太田市指定サービス連絡協議会・館林医師会等の勉強会に参加させていただくなどし、地域との連携を図っています。南支部主催の研修会のテーマは南支部の会員の希望にて決定することにし、年1回予定しています。

(記 世鳥山)

北支部

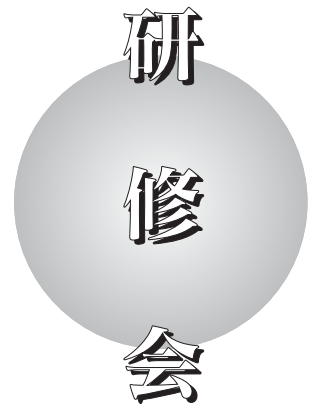
(前橋・渋川・沼田・

吾妻地区)

役員 岡根・細井

北支部では約20箇所の事業所が参加し、偶数月の第3木曜日に看護協会の研修室をお借りして、支部会を開いています。昨年の研修内容は栄養療法、鼻マスクによる陽圧換気療法、口腔ケア、呼吸リハ、事例検討(4例)行いました。また、業務の中で、管理者として困っている事。介護保険の最新情報など、情報交換しています。各管理者は忙しい中、研修会に参加されているので、少しでも有意義に時間を持てる様に努力しています。これからは北支部全訪問看護北支部ステーションが地域に根ざし、在宅の医療と福祉の重要な役割を担っている訪問看護の質の向上に努めていきたいと思っております。

(記 関根)



第1回

日時 平成16年10月30日(土)15:00

場所 群馬メディカルセンター

2階 大ホール

研修内容

演題 「訪問看護ステーションの課題と今後のあり方」

講師 厚生労働省老健局老人保健課看護専門官

島田陽子先生

第3回

(在宅医療推進のための実地研修会…県医師会と共催)

日時 平成17年1月8日(土)15:00

場所 群馬メディカルセンター

2階 大ホール

研修内容

演題 「痴呆ケアにおいて知っておくべき基礎知識」

講師 国立長寿医療センター包括診療部長

遠藤英俊先生

第4回

日時 平成17年1月15日(土)15:00

場所 群馬メディカルセンター

2階 大ホール

研修内容

演題 「ALS診療の実際」

講師 群馬大学大学院医学系研究科 高次機能統御系脳神経

病態制御学講座 脳神経内科学教授

岡本幸市先生

第2回

日時 平成16年12月11日(土)14:00

場所 群馬メディカルセンター

4階 小会議室

研修内容

(1) 褥瘡の治療とケア(VTR)
(2) 呼吸管理

講師 帝人在宅医療東日本株

根岸 愛様(呼吸療法士)



平成16年度新年交流会

今年で8回目の開催になる新年交流会が平成17年1月29日(土)、前橋市のマキキュリーホテルで55名の参加者を得て開催されました。

例年どおり中里副会長の名司会のもと、日頃の多忙な業務をしば

し忘れ、美味しい料理を食べながら、福引大会やおしゃべりで大いに盛り上がりました。

来年も開催する予定です。参加したことがない方は是非ともご参加ください！



ゲームの景品の数々、右は名司会の中里さん



ジャンケンゲームで盛り上がる！



編集後記

訪問看護という仕事の礎ともなる太陽の会の冊子が出来上がり、過去の人々の思いや今日にいたるご苦労など感謝したい。今後も高齢化社会の中で益々在宅医療・福祉のニーズは高まる。群馬県内の訪問看護に携わる看護師が周囲の情報を得、人々のニーズに「私達に任せて」と胸をはれるよう前進したいものである。

今後、群馬県訪問看護ステーション連絡協議会の広報誌がいろいろな人の目にとまることにより活動の様子を知ってもらい、またそれぞれの事業所のスタッフの励みになればと期待している。

広報担当 猿谷